

第2回北川村保小中学校運営協議会 概要

- 1 日時 令和2年7月31日(金) 18:30~20:30
- 2 場所 北川小中学校多目的ホール
- 3 参加者 ■運営協議会委員: 11名
阿部委員、田所委員、井津委員、西岡委員、濱渦委員、中村委員、大寺委員、
小松委員、田中委員、山崎(和)委員 山崎(美)委員
■事務局: 6名
西岡次長、百々次長補佐、牛窓教頭、五百蔵教頭、鶴和教諭、利岡教諭
※リモート参加: 木内アドバイザー、野見山副村長 **合計19名**

4 概要

※ 小松会長あいさつ

(1) 1学期の保育所・小中学校の活動について

【保育所】

- ・コロナウィルス感染症の影響を受けて、様々な行事が中止や延期になり、保護者の皆様には利用自粛のお願いもするなどご迷惑をおかけしましたが、園に来たら子ども達は元気いっぱい楽しく過ごしており、大きな問題は生じていない。
- ・保護者会総会は中止し、議案は書面決議となり、保護者の皆様の承認を頂いた。
- ・4月中旬から6月頃は気候的にも過ごしやすく、園外に散歩に出かけることも多かった。また、7月には、七夕祭りやお楽しみ会を行った。
- ・クッキー作りやカレー作りは、当初5・6月に予定していたが延期となり、ともに7月に実施した。カレー作りでは、感染予防に配慮しながら、子ども達が包丁の使い方を習って楽しく調理を行うことができた。
- ・今後については、オタマジャクシを捕まえに行ってもかまわない田んぼがあれば教えて頂きたい。また、地域の方とふれあいながら芋の植え方を教えてもらったり、役員の中でトラクター等の農機を持っていない方が多くなってきたため、次年度以降芋の畝づくりの手伝いをして頂ける方がいるとありがたい。
- ・また、運動会用のマスト登りの竹や七夕祭りの笹など、近くに取りに行ってもかまわない場所があれば教えて頂きたい。

【小中学校】

- ・4月7日に小中学校ともに入学式を行ったが、コロナウィルス感染症の拡大や緊急事態宣言等の影響を受け、PTA総会は中止し、書面決議により承認を頂いた。また、遠足や中学校の新入生オリエンテーション、講師招聘研修等の行事が延期または中止となった。
- ・臨時休校の期間は、4月21日から5月10日まで計9日間の授業日カットとなり、児童生徒は自宅で家庭学習に取り組んだ。
- ・休校明け以降は、新しい生活様式に則って、検温・マスク着用・三密を避けた授業スタイルで学習を進めている。また、子どもの下校後にはドアや手すりの消毒を行う他、中学校の部活動の際にも、検温と消毒、換気等を行うなど、感染予防策を講じながら実施している。
- ・5月後半になって、北川学などの学習等、ようやく村内での体験活動ができるようになった。
- ・本来は夏休み期間であるが、今年度については、小学校は7月末日まで8日間授業日とし、中学校は7月に6日間、8月に8日間(午前中)授業日として対応している。

- ・また、例年登校日に行っている平和学習は、専門機関から資料を頂き、それぞれの学年で平和学習を実施した。
- ・北川学の公開授業は、これまで中学校2年と小学校3年が実施した。ともに、感染予防の観点から、該当学年の保護者にのみ案内を行っている。2学期以降の公開授業は、感染拡大等の状況を注視しながら、村民の皆様等に広く公開するかどうか判断していきたい。

(2) 学校評価について

- ・学校評価については、学校教育法で定められており、学校運営の組織的・継続的な改善を図るために毎年実施している。また、評価結果を公表し説明責任を果たすことにより、保護者や地域住民の理解と参画を得ながら、学校・家庭・地域の連携・協力による学校づくりを進めること等を目的としている。
- ・本校の学校評価については、教職員が行う自己評価と、保護者や地域住民等により構成された委員で評価する学校関係者評価、この2つの形態で実施する予定である。運営協議会委員の皆様には、学校関係者評価委員として、評価を頂きたい。
- ・7月には、まず、児童生徒と教職員のアンケートによる評価を行った。
- ・12月には、第2回児童生徒・教職員アンケートに加え、保護者アンケートを実施する予定。
- ・委員の皆様には、運営協議会における学校の取組報告、アンケートや各種調査結果、学校訪問等による状況把握を基に、2月には評価を頂きたい。
- ・なお、資料として、7月に実施したアンケート結果及び昨年度の評価書とともに、学校の経営目標や具体的な取組、評価指標を記載している今年度の評価書も配布させて頂いている。
- ・今後も改善を図り、よりよい学校運営に努めていきますので今後ともよろしくお願ひします。

(3) 子育て教育ビジョンについて

①説明Ⅰ【子育て教育ビジョンに基づく令和2年度の取組について】

②グループ協議Ⅰ「北川学や子育て支援策、保小中連携の取組等について」

【北川学】

- ・地域の資源をテーマに学習していくことは、郷土を愛する心の育成につながっていくと思う。地域の方と関わりながら深い学びのあるものにしてほしい。
- ・どの子ども村への深い気持ちを持って真剣に取り組んでいる。課題意識を持って積極的に協働していると思う。
- ・各学年で地域の人・もの・ことについて課題を発見し、課題を解決する探究的な学びができている。また、子ども達の学ぶ意欲、自分の考えを持つ力、書く力、コミュニケーション力なども身に付いてきている。
- ・小学校3年生のかかし作りの活動は、子どもの個性なども出ていて良かった。
- ・北川村が好きな子どもが多いことはすごいことだと思う。この気持ちを大事にして将来を託したいと思った。
- ・地域の方々の協力のおかげで意義ある活動が進められている。
- ・学校と地域をつなぐ地域コーディネーターが必要である。

【ICT 関係】

- ・臨時休校の時も授業が可能になるのでよいと思う。その他の活用もできると思う。
- ・コロナウィルス感染が広がる中、今の世の中では必要。活用にあたっては、教員の研修やICTの学習を支援する人が必要。

- ・また、総合的な学習の時間などにおいて、子ども達が地域で活動できる場を設定し、子どもの活用力を高めていければよいと思う。ICTの正しい活用方法についての教育も必要。
- ・オンライン英会話は、いつでも英語を使う人と話せるので、大変いい経験になると思う。
- ・説明を聞いて進捗状況の理解はできた。
- ・配布されるパソコンは家庭でも活用できる？
(→ 子どもが持ち帰り、学習ができるように考えている。)
- ・ICTを活用した授業は2学期中にできますか？
(→ コロナウイルス感染症の影響や全国的なパソコン受注量の増加等に伴い、9月納入見込みであったものが遅れがちになっている。発注は行っているため、今後も業者と連絡をとり、早く納入できるように努めたい。)

【保小中連携・一体化】

- ・小中交流の授業が行われ、特に、小学6年生の子どもが中学校に来たり中学校教員の授業を受けたりしながら、ぐっと小中間の距離が近くなって親しんでいる。
- ・保小中連携・交流は、児童生徒理解や学習理解のうえでも必要。
- ・中1ギャップ等の解消や、小中お互いの学習内容や子ども理解につなげることができる。
- ・保小中一体化の取組の一環として、複式学級が解消される良い面は表には感じますが、現場の先生の状況はどうでしょうか？

【子育て支援】

- ・子育て教育ビジョンの取組ができて、今まで個人で声をあげてきたことがすんなりと取り上げてもらえた。
- ・夏休みの放課後子ども教室の受け入れが朝の7時30分からできるようになったことで、仕事の面でスムーズに勤務できるようになった。
- ・高等学校等生徒通学費助成金を全員に！
- ・どの市町村も実施している子育て支援。村の手厚い支援内容は、行政だけが行っても難しく、地域住民の理解がなくては成り立たないもの。その意味では、今村のやろうとしていることは、他の自治体に出しても誇れるものだと思う。

【育てほしい子どもの姿】

- ・15歳までに育てほしい子どもの姿について、大人像も考えることも必要ではないか？
- ・子どもの現状に対して、議論を深めていければ。

【その他】

- ・いろいろな計画がコロナの影響で中止・延期となり、子ども達へのしわよせも見える中、新しい生活様式の中で、2学期以降できることから始めていきたい。
- ・年少人口減少については、村行政の取組と一緒に検討しなければならないと考えます。
- ・公認心理師について、子どもの悩み、相談、不安に思った時など、村に常時聞いてもらえる方がいることはありがたい。
- ・地域ボランティアについて、学校や保育の中での困り感もわかって、ボランティア活動も行きやすいと思う。
- ・中学校の部活動を広域化してもらいたい。切磋琢磨できる環境を！
- ・保護者にはまだあまり知らない、わからない方が多いと思います。
(→ 昨年同様、保護者の皆様との懇談会を開催する予定。早い時期では、8月下旬に開催を予定しており、今後、情報発信や意見交換の場を持つように予定している。)

③説明Ⅱ【今後の検討事項（食育、子育て・文教エリアの魅力ある環境整備等）について】

④グループ協議Ⅱ「子育て・文教エリア（図書館や公園、保小中一体的な施設）整備について」

【多様な施設・機能】

- ・子どもたちが遊べる公園がない。子どもが減っていく状況から考えると、以前よりも必要性を感じなくなったが、これから保小中一体化も踏まえた議論の中では、絶対に必要だと考える。他の自治体との差も感じる。（図書館や体育館などの整備）
- ・公園は必要。村内に行くところがない。
- ・多目的な図書館で、休日もオープンしていればありがたい。
- ・田野のような図書館があればよいと思いますが、利用者がたくさんいるのかはわかりません。
- ・地域に開放された図書館のような文化施設があればありがたい。
- ・図書館はやっぱりいると思う。土日祝日に休みなのはどうかと思う。平日を休館にすればよいと思う。
- ・スポーツやものづくり、学習など、体験できる場があればよい。
- ・学校の中に、地域の方が集まりやすい場所があればいいと思う。
- ・災害に強い施設が必要。
- ・防災を含めて、コミュニティセンター機能があるとよい。

【保小中一体化施設・機能】

- ・保小中合同の施設。
- ・保小中が一つの敷地内に。距離を物理的に近くすることがまず第一。今後新しい校舎を検討する場合には、子どもの命を第一に考え、防災センター的な機能を組み入れることも一考してもらいたい。
- ・保小中連携・一貫した施設一体型が必要。そこに地域との協働や ICT、防災、図書館などの複合機能があればよいと思う。事例のようなものがあればいいが？
- ・15年の一貫した教育を目指すのであれば保小中一体化または隣接したのが望ましいと思う。ただ、子どもの減少を考えると、いつ頃、どのような規模で建てるのが望ましいのか？
- ・保小中一体的な施設整備は希望ですが、子どもの数を考えると？図書館や公園は望みます。
- ・施設の整備もよいが、耐震など安全の方が大事かな？

【福祉的な機能】

- ・学校ゾーンと福祉ゾーンの一体化。
- ・病気の時や夜間に子どもを預かってくれる施設があれば。

(4) その他

- ・次回運営協議会は、9月上旬ごろ開催予定。日程調整させていただきます。
- ・8月下旬には、保小中の保護者懇談会を開催予定。

以上